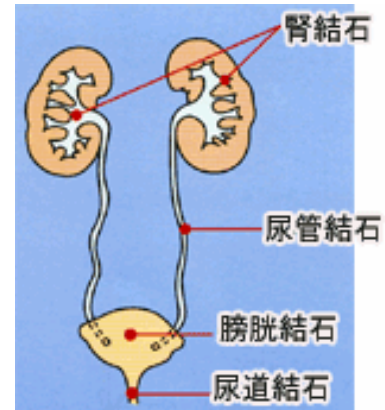




## 尿路結石について

泌尿器科部長 池本 慎一

尿は腎臓で作られ、尿管という細い管を通り膀胱に貯められ、尿道を通して体外に出ます。尿の中の成分が固まって石になり、この尿の通り道のどこかで詰まり激しい痛みや血尿などを生じるのが尿路結石です。結石の詰まる部位により腎結石、尿管結石、膀胱結石、尿道結石と呼ばれます。尿路結石は日本人の食生活の欧米化に伴い近年増加しており、生涯で100人中4 - 5人の方になるといわれており、特に20 - 50歳の男性に多い疾患です。自然に体外に排出されない場合、痛みなどの症状が続く場合には治療が必要になります。



腎結石や尿管結石の治療は体外衝撃波結石破砕術（ESWL）が第一選択になっています。ESWLは音波の一種である衝撃波を体の外から腎臓や尿管にある結石に向けて照射し、筋肉や他の臓器を傷つけることなく結石のみを細かく破砕する最新の治療法です。砂状に破砕された結石は尿とともに自然に体外に排出されます。

ESWLによって結石の治療は大きく変わりました。今ではお腹を切って結石を取り出す従来の手術はほとんど行われなくなりました。

当院ではドイツ・ドルニエ社製の最新式 ESWL 装置（体外衝撃波結石破砕治療器）ドルニエリソトリプターD を備えています。1回の治療時間は約1時間で、通常サイズ（1 - 1.5 cm）の結石なら一回の治療で破砕が可能です。入院期間は原則的に1泊2日ですが、結石の部位により日帰り手術も行っています。通常は無麻酔で行い副作用、後遺症はほとんどなく退院後すぐに職場復帰が可能です。新病院開院以来、多くの治療を行っており良好な成績を上げています。